

## 第1回輪之内町小中合同家庭教育学級の報告

- 1 演 題 「子どもの健康について」
- 2 期 日 平成30年6月1日(金)
- 3 時 間 13時30分～15時
- 4 場 所 輪之内町図書館 学習室
- 5 講 師 朝日大学看護学部  
渡部真奈美 教授

◇ 参加者  
合計 22名

### ◇ 内 容

#### ○自己紹介

○健康な家族の特性(1 コミュニケーションがあり、相手の話に耳を傾ける)、家族構造とは、家族構造の構成要素、家族についてイメージすることは何か、小児看護における親の役割、愛着、ボウルビイの愛着理論、親から子への愛情アセスメント

#### ○友田 明美著「子どもの脳を傷つけ親たち。」

世界一受けたい授業の「子供の脳を変形させるマルトリートメントより」を放映。

子どもへの声のかけ方は自分が役に立っているんだと思うように。子どもを叱るには60秒以内に的を絞って。ほめ方は子どもの言った言葉を繰り返す。

「不適切な養育」において、激しい夫婦喧嘩を子供の目の前で頻繁に見せると脳が変形してしまう。自己管理できている子供に過干渉すると、「信用されていない」と感じてしまう。スマホの見せすぎ、お風呂上りに裸でウロウロする、「感情に任せた暴言」などもよくない。変形した脳については、子どもの自己回復力によって正常になる。誤った指導を改めることが大切。

○子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦～資料参照 12項目。

○予防接種スケジュール。毎年新しくなる。

#### ○質疑応答

質問 なぜ小児看護科を専門にしたのか。

応答 はじめは小児科はいやだったが、姉に子どもが生まれ赤ちゃんを見るのが好きになり、小児科に関心を持つようになった。子どもが苦手であった自分が次第に変わっていった。ドクター論文は「小児病棟における男性看護師」であった。

